

MIRAI X BUSINESS



MIRAIが拓く
水素エネルギーとビジネスの
新しい可能性

日本の法人が協力して MIRAIを応援し、広めていくことが必要



毎日興業株式会社

代表取締役社長
男澤 望 様

「会社のステッカーを貼っているので、毎日興業がMIRAIを所有していることは、よく知られています。教習所でMIRAIの試乗会もやりましたよ。いままでとは違う人と人とのネットワークが増えたように思います」と男澤氏。

2015年、いち早く MIRAIを導入しました

私たちの会社は1973年に創立し、埼玉県
の県南地域から東京、横浜にいたるまで、
地域のビルメンテナンスや県内の機械
警備などを行っています。MIRAI導入の
きっかけは、2013年、前社長と専務が北
九州水素タウンの視察に招かれたときのこ
と。そこでFCVに乗せてもらい、すごく感
動したようです。その後、FCVの話をも
埼玉トヨペットの社長さんに話したら、市
販化されるということで、2015年に導入
しました。

前社長は環境に関心のある人で、LEDの
導入や森林維持活動などに取り組んでい



ロゴと社名を大きく掲出し、
会社の知名度、イメージアップに貢献。

ました。しかし、その社長も2017年末他
界してしまい、いまは私がMIRAIを運
転しています。水素ステーションは自宅から
2km弱のところがあるので、すぐに水素を
入れられるのですが、連休でステーション
が休んでしまうと困りますね。あと5人乗
ればいいなあというところ。それ以外は
まったく問題ありません。

地域貢献として MIRAIの試乗会も開催

「MIRAIに乗ってみたい」という声が多
かったため、エコドライブを積極的に推
進している自動車教習所と一緒にMIRAI
の試乗会を開催しました。東京ガスさん
から講師も呼んで水素の勉強会も一緒
に。こういった活動が水素への理解・啓
発や地域貢献につながると思いまし
てね。皆さん、興味津々でしたよ。

MIRAIは自動車としてだけでなく、発
電機としても機能するので、危機管理
の面においても1台持っておくと安心
だと思います。



危機管理の面でも、
発電するクルマとして
1台持っておくと安心。

万が一、災害などで電気が供給されな
くなら、本当に何もできませんからね。
これから化石燃料に頼ることが難しく
なります。そういう意味では安定して水
素をつくり、それを燃料にする水素社
会は理想的。みんなが水素を使えば、
コストも下がり、インフラも整備され
ます。日本の法人が協力してMIRAI
を応援し、広めていくことが必要で
はないかなと思います。